

放課後子ども教室【千代田区】

活動場所	学校内	学校外
	○	
開催日数	243日／年間	
参加人数	66人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	○
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
	○	○
学童クラブとの連携	校内交流型	

■ **主な活動場所**
校庭、体育館、図書室、家庭科室、ランチルームほか

■ **開催日**
土・日・祝日を除く月曜日～金曜日
学校休業日、長期休業日も1日実施（8校中3校）

■ **参加対象**
各小学校在籍の全児童

■ **申込み手続き**
申込み不要。参加カード、名簿にて下校管理。

活動紹介

＊千代田区放課後子ども教室は「学び」「遊び」「体験」の3本柱で実施している。

「学び」…毎日の宿題対応のほか、持参教材の自学自習の場として専任指導員が見守り、子どもたちが自力で答えにたどり着けるようサポートしている。また学校とも連携し、タブレット使用を可能としている。タブレットを使った宿題や調べもの学習にも対応し、子どもたちが意欲的に学べる環境を整えている。

「遊び」…放課後の学校施設を有効に活用し、専任指導員見守りのもと、校庭、体育館などで自主的に体を動かして遊ぶ場所を提供している。室内で静かに遊んで過ごす時間もあり、トランプなどのカードゲームやボードゲーム、ぬりえなどを楽しんでいる。また工作や昔遊びなど、子どもたちが主体的に参加できるプログラムも実施している。下校時間の管理やシルバー見守り隊の見送りなど、子どもたちが安全に参加出来るよう徹底している。

「体験」…学校ごとに調整し、その内容について毎回更新。専門の知識と技術を持つ講師を呼んで指導してもらうことで、子どもたちがさまざまな経験をできる機会となっている。内容は、囲碁、ドッチビー、ミニバス、ダンス、スイミング、一輪車など多岐にわたる。保護者、地域ボランティア協力のもと、区、学校、PTA、地域が一体となった取り組みになっている。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- **採用・募集** コーディネーター（行政職員） 有償ボランティア（保護者、地域の方々）
- **配置人数** コーディネーター（3名） 有償ボランティア（各校必要に応じて）
- **運営体制** 小学校ごとに校長、副校長、区、民生児童委員、青少年委員、PTA 役員、有償ボランティアと年1回運営について報告、次年度について協議している。

千代田区の取組

- **全教室数** 全8小学校8教室
- **事業目的** 放課後の学校施設を活用し、子どもたちの安全・安心な居場所（学び・遊び・体験の場）を確保し、次世代を担う児童の健全育成を支援する。
- **事業の成果等** 学校との情報共有など連携を図り、実施場所の確保や実施内容の幅を広げている。各学校子どもたちの参加が増えており、放課後の子どもたちの居場所として確かなものとなってきている。